



# 支援の提案や専門家とのマッチングで 厳しい業界不況を切り抜けるべく 新たな活路を開きつつあります。

**大きな試練に対峙して**  
1952年に創業し、「鰻の舞坂」として親しまれてきた。しかし近年になり、鰻業界はしらす鰻の連続不漁というかつてない大打撃に見舞われる。卸値の高騰は常識を越え、廃業を決断した同業者も少なくなかったという。あくまで国産にこだわる同社も長期の苦戦を強いられた。「祖父の代からの店を潰すわけにはいかないという一心で、経営計画を何度も見直すとともに、活用できる支援策はないかと奔走



洛央支部経営支援員

山田 智仁

京都舞坂有限会社

佐竹 幸夫 氏

## 京都舞坂有限会社

代表者 / 佐竹 幸夫  
住 所 / 京都市下京区朱雀北ノ口町2  
TEL / 075-315-1416  
URL / <http://www.maisaka.com>  
事業内容 / 飲食業、食品加工販売

走しました」と佐竹幸夫さん。「そんななかで京商さんにもお世話になって」。約2年前から支援を開始した山田支援員は、「その間にも大幅な組織改革や、新たな試みへの挑戦など、ひとときも一点にとどまられない社長のバリエーションには驚くばかりです」と感服する。

**さまざまな方向から  
新たな道を模索**

「厳しい状況ではあっても、目の資金繰りばかりでは未来がありませんから。鰻に代わる商

品の開発や販路の拡大など、できることは何でもする覚悟です」と語る佐竹さんは、山田支援員の勧めで異業種交流会の「支部ビジネス活力交流会」や大手流通企業との商談の場である「京のイチ押し商品売り込み商談会」などに積極的に参加。新たな出会いには、新規顧客の開拓や催事への参入につながり、新商品開発にも役立っているという。また、一年半前からは奥様も経営に参画され、経理を担当する一方で顧客との定期的なコミュニケーションセッションの制作を始めると豊富なアイデアで販促に貢献、ご夫婦息のあった取り組みで社業を盛り上げる。

### より大きな手応えを得るために

鰻の価格が高騰し続ける現状をふまえ、鰻だけに頼らない企業体質の確立は大きな課題だ。鰻に代わる新たな主力商品と期待しているすっぽんの加工商品が好評で、新商品も開発し、ギフト市場の開拓にも力を入れる。

また、商品の企画といったソフト面だけでなく、店舗設備等のハード面の見直しにも着手。「昨年、本店の宴会場を椅子席に改装して、新たな団体客の取り込みにつながりました。具体的で役立つ情報や的を得たアドバイスにいつも助けられています。私たちもお応えしていきたい」と謙虚に微笑んだ。

## 要望を汲み取り、的確な支援や提案を。

支援先には、ご活用いただきやすい情報をタイムリーにご紹介することを心がけています。その意味でも京都舞坂さんは、従来のやり方や目の利益だけにとらわれない広い視野と柔軟なお考えをお持ちで、私の意見にも真摯に耳を傾けてくださるので、提案のし甲斐があります。勉強熱

心でアイデアも豊富にお持ちなので、必要に応じ専門家などを活用してシビアな視点で精査し、より有効な販売戦略づくりをともにしていきたいですね。そして次代につなげる新機軸の確立と経営安定に向けてしっかりとサポートできたらと思っています。

### 担当支援員



私が担当いたしました /

京都商工会議所  
中小企業経営支援センター  
洛央支部 経営支援員

山田 智仁